

手をつなごう2008

平成20年9月8日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 9

公開講座終わる！



今年の夏も暑かったですね！そして残暑も厳しそうです。でも子どもたちは元気に運動会の練習に励んでいます。9月20日（土）に開催されますので、どうかお出でください。さて、今月は夏休みに開催しました公開講座の報告をさせていただきます。



講座1：企業の立場からの就労支援

「ようこそNTNワークショップ 夢工房へ」

＜講師＞NTNテクニカルサービス株式会社

岡山事業所ウェルサービス部

部長 高津信氏

130名の参加申込をいただきました。学校で開催するにはほとんど限界の人数です。

夢工房の設立趣旨、運営方針、治具の工夫など、スライドやビデオを使って具体的にお話しいただきました。特に保護者・学校へ向けにお話しされた「企業からお願いしたいこと」は大変重みのある内容だったように思います。高津部長の熱い思いが伝わってきて、2時間があっという間に過ぎました。参加者の感想の一部をご紹介します。

- 就労に向けての展望や義務教育期間に必要なことがよくわかった。（教職員・小）
- 「小さいころから就労を見据えて」日々の支援をしていくこと、保護者の願いをきちんと聞き取ろうと努力することを心がけたいと思います。我が家の近くに誇りにできる夢工房があること、高津さんのような情熱家がいらっしゃることに、うれしい限りです。（教職員・小）
- 息子は重度の知的障害を伴う自閉症です。しかしいつかは就労できるようにと精一杯育ててまいりました。今までたくわえてきた力を試す時が来たと思っています。そのような時にこういう企業があるということに力を頂きました。無理をさせないようにと親が何もかも教えていましたが、考える力をつけるため、教える前にちょっと待ってみる、本人がどう工夫するか見守るということも始めました。それを生かせる職が見つかることを祈っています。（保護者・特）
- 就労に必要な条件を企業の側から提示されたことがよかったです。（教職員・小）
- 仕事ができないのは、サポートの仕方や教え方が悪い、作業の効率が上がるよう治具の工夫をされる、休憩時間を安心して過ごせる環境を作るなど、中心に流れる考え方や姿勢がすばらしい。本当に本人のせいではないですね。わたしたちももっともっと勉強していきます。ありがとうございました。（教職員・幼）
- 家庭での、特に母親の取り組み方の違いで、就労が可能になるかが決まって来るというのがすごくあせりました。お手伝いの継続からいろんな仕事につながるというのが目から鱗でした。（保護者・特）
- いろいろな治具を考えられていましたが、「今は〇〇に改良されている」「今はなくても作業できている」と話されたのが印象的でした。成長と共に支援を変えていくことも大切だと思いました。（教職員・小）